



「セルフモニタリングによる学級経営ビジョンづくり」

第3回 あったか学級経営・授業充実講座

平成24年10月16日(火)実施

子どもたちが生活をしている**学級の状態**によって、学力や不登校等の状況は大きく変わってくるということが言われている。

自分が担任している
クラスは、どんなクラス
なんだろう

セルフモニタリング=自分の学級経営の振り返り

セルフモニタリングの流れ

モニタリング①…自分の学級経営の強みとは(個人で)

『あったかアンケート』の中の「学級風土アンケート」に答えてみて、「こんなことを大事にしてきたのかな」と思うことを5つほどあげる。



モニタリング② そのために取り組んでいることは(個人で)

学級経営がうまくいくために、どんな取り組みをしているかを振り返り、5つほどあげる。

シェアリング① お互いの学級経営について知る(グループで)

セルフモニタリングしたものをグループで共有する。

モニタリング③…自分の学級経営の弱さとは(個人で)

一方で、「自分の学級経営は、こんなところが弱いのではないか」「もっとここを良くしたい」と思うことを3つほどあげる。

シェアリング②…お互いの学級経営力がアップするには(グループで)

- ① 自分の学級経営の弱さに対して、「すぐできて、準備がいらす、できれば毎日できること」を“突破口①”として書き出す。
- ② グループの隣の人に渡し、渡された人は、「これをやったらいいよ」と思うことを書く。
- ③ ②の活動を、自分のシートが戻ってくるまで続ける。

※右のシートは6人グループで行ったもの。

シェアリングにより、改善策を考えあう

みんなでつくろう、よりよいクラス ☆☆☆ SELF MONITORING ☆☆☆

学校名 _____ 氏名 _____

■ monitoring 1 (個人) ……自分の学級経営の強み(5分)

- ①私は、学級経営の中で チャイムを守ること を大事にしています。
- ②私は、学級経営の中で 本音が坐せること を大事にしています。
- ③私は、学級経営の中で 仲間を支え合うこと を大事にしています。
- ④私は、学級経営の中で 判断力を育てること を大事にしています。
- ⑤私は、学級経営の中で お互いの人権 を大事にしています。

■ monitoring 2 (個人) ……そのために取り組んでいること(5分)

- 具体的取り組み① どんな時にもチャイムを授業を終わらせる
 具体的取り組み② 帰りの会での2分間日記…秘密厳守
 具体的取り組み③ 良い事を見つけ合い、帰りの会でも公表し、感謝し合う。(今日のサテオ発見)
 具体的取り組み④ 生活の中でのぶつかりを通して自分の判断力をみつける
 具体的取り組み⑤ 集団の中で自分を大切にしながら、仲間を大切にできる態度を育てる。

■ shareing 1 (グループ) ……お互いの学級経営について知る(10分)

■ monitoring 3 (個人) ……自分の学級経営の弱さ(5分)

- ①私は、学級経営の 気長に待つこと が苦手です。
- ②私は、学級経営の 無表情を見直しのつき合い が苦手です。
- ③私は、学級経営の _____ が苦手です。

■ shareing 2 ……お互いの学級経営力がアップするために

- 突破口① 自分の価値感を決めつけずに、ゆったりと生きよう。(リラックスした雰囲気を作る)
 突破口② 気持ちよき時、2択でき、(何) (何) どちらか入らなくていい。
 突破口③ 待つこと。(こちらがあげられない) ②のやり方がいいと思いつく
 突破口④ 待たせるとは思いつく、待つことでもうはゴラク!とまじか…
 突破口⑤ がんばっているおね!という意識。笑顔で待つ。
 ⑥ 何かのきっかけ? 笑顔がみえてくる…?



〈受講者の感想〉

- ・ 自分自身を振り返る、いい機会となりました。もっと聞きたいと思いましたが、みなさんに考えてもらった「突破口」は私の財産となりました。
- ・ 他の人の意見を聞くことにより、自分では分からなかったことを教えてもらい、とても嬉しかったです。また、自分と同じようなことで困っている人もいて、ホッとしました。アドバイスをもらえて明日からまた頑張ろうと思いました。

特別な支援が必要な 児童・生徒への具体的な手立て

高知市教育研究所
特別支援教育班

《 学校生活での支援として大切なこと 》

教職員全員が発達障害について、「共通の理解と支援方法」を知っておくこと



特別な支援が必要な児童・生徒への接し方

ケース	接し方
指示が聞けない	すぐそばで指示を出す。わかりやすい言葉に言い換える。
ルールが守れない	支援者がそばについてルールを教える。具体的な指示を出す。
活動の切り替えができない	次に取り組む活動の内容を事前に伝えておく。具体的な指示を出す。
運動遊びが苦手	できないところを介助する。到達目標を下げる。できないことを責めない。
絵や工作が苦手	できないところは手伝う。欠点を指摘しない。のりや粘土が触れないなら道具もOK
勝ちにこだわる	勝ちたかったという気持ちを認める。負けることもある現実を教える。クールダウンさせる。
相手の嫌がることを言う	良くない言葉を伝える。支援者が間に入ってサポートする。周りの状況も確認する。
友だちと一緒に遊ばない	無理に遊ばせる必要はない。友だちの輪に入る方法の手本を支援者が見せる。
特定の音を嫌がる	無理に音に慣らそうとしない。聞こえない場所へ移動する。音が鳴ることを予告する。
乱暴な行動をする	子どもの気持ちを理解し代弁する。クールダウンさせる。淡々と落ち着いた口調で対応する。言葉で意思表示をさせていく。うまくできた時はほめる。
その場からいなくなる	居場所確認や安全確保を最優先する。原因や理由を聞く・推測する。子どもの思いを受けとめる。一斉活動には部分参加でも良いことにする。
自分を傷つける	けがに気をつけながら興奮のピークが過ぎるのを見守る。他傷行為はやめさせる。気分転換を図る。叱ったり責めたりしない。むきになって怒らない。
おしゃべりがやめられない	絵カードを使って合図を出す。後で話を聞くことを予告しておく。状況が許すなら話につき合うことも大切。叱ってやめさせようとしない。
気になる行動がある	周囲が気にならないように配慮する。できるだけ許容する。無理にやめさせようとしない。不安にさせない。手持ちぶさたにさせない。行動を誘発させる刺激を与えない。



子どもへの支援で大切なもの

- 感謝の気持ちを言葉や笑顔できちんと表す。
(子どもたちは「ありがとう」の言葉ひとつでやりがいや達成感を感じる。)
- 子どもの価値を認めたまなざしをおくる。
(他の子どもたちも教師のまなざしを見ている。)
- 一人ひとりの子どもの得意なことを見つける。
(子どもたちは他人に負けない何かを持つことで輝ける。)
- 他人のために役に立てた喜びを体験させる。
(認める・ほめる・あてにする。)



次回【あったか学級経営・授業充実講座】
第4回 11月27日(火)15:30~17:00

高知市教育研究所
教育相談班 「あったか学級」実践交流
特別支援教育班 「特別な支援が必要な児童・生徒への
手立てを考える」